

名古屋市立大学の「今」を伝える広報誌



国内最大規模の手術手技研修拠点！  
先端医療技術イノベーションセンター開設

(→詳しくはP2をご覧ください)

PICK UP!

## 特集

生命科学を中心に理学全体を学ぶ

## 2018年4月、総合生命理学部を設置

(仮称・設置構想中)

- 01 特集
- 02 特色ある活動・講座
- 03 TOPICS
- 04 国際交流
- 05 学生の活躍
- 06 受賞関連／お知らせ／開学70周年に向けて
- 07 イベントカレンダー／著書・発行物紹介／寄附顕彰

### DONATION

あなたの力が支えます。  
ご寄附のお願い

名古屋市立大学では、高いレベルの教育、研究、医療などの活動を展開し、市民に開かれた大学づくりを実践していくために、寄附金を募集しております。

問合せ：事務局総務課  
tel.052-853-8005

## 生命科学を中心に理学全体を学ぶ

# 2018年4月、総合生命理学部を設置

(仮称・設置構想中)

近年、国や産業界から理系人材育成の必要性が指摘されていますが、その一方で愛知県には理学系学部が少なく、優秀な人材が県外に流出していると考えられます。本学では、基礎自然科学分野を強化し、地域への学術的な貢献を高めるため、総合生命理学部(仮称)を2018年4月に設置します。

### 特色

- 基礎自然科学を学修する総合生命理学部(仮称)と医学部・薬学部・看護学部の応用系学部が連携を強化し、教育・研究・社会貢献のさらなる充実を図る
- 既に理学系の大学院教育を行っているシステム自然科学研究科の下に設置することで、学部から大学院までの一貫した教育を実現する

### 養成する人材像

- 生命科学を中心に自然科学・数理情報科学の基礎を修得した人材
- イノベーションの創出に貢献する人材
- グローバルな視野で地域社会の発展に貢献する人材

### 進路・活躍のフィールド

大学院進学、各種製造業、医療関連企業・研究所、情報・通信技術関連企業・研究所、安全検査機関、官公庁・公的研究所 など

- 総合生命理学部(仮称)に関する詳細は本学ウェブサイトで公開しています!  
<http://www.nagoya-cu.ac.jp/academics/undergrad-sci/>

## 生命科学を核に理学全体を俯瞰する学部教育



### 湯川泰学長補佐(新学部担当) ごあいさつ

私が学部設置準備に参加したのは2009年からですが、その過程でこの地域は理学系学部の需要を満たしていない実態が明らかとなりました。科学を志すも諦めた人達が大勢いたことを想像し、本当に心が痛みます。この度、本学が総意を持って新学部の設置を進めること、名古屋市を含め各方面から協力をいただいたことに、深く感謝申し上げます。総合生命理学部(仮称)は、大学と地域の発展に、必ずや貢献いたします。



※記載の内容は計画段階のものであり、変更する可能性があります。

### 名古屋市立大学 × 名古屋市科学館

#### サイエンスパートナーシップイベントを開催!

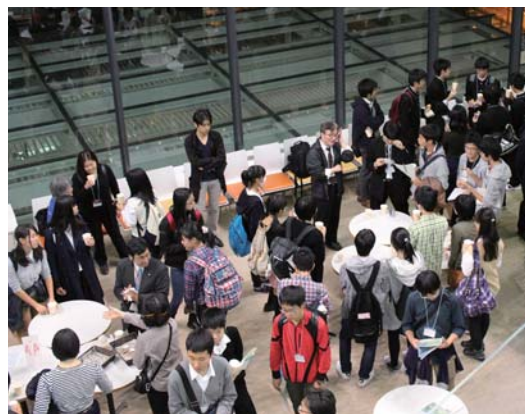
次世代の科学系・技術系人材の育成と地域社会の発展を目指したパートナーシップを2016年3月に名古屋市科学館と締結し、その記念イベントを開催しました。本学の理学系教員が中心となって、中学生・高校生を対象に科学の楽しさを伝えました。

#### 2016.11.6 SUN 「魅力あふれる生命科学の世界」

特別講演、交流会及びプラネタリウム特別プログラム上映を行いました。

#### 2016.12.10 SAT 「サイエンスカフェ in 名古屋 @名古屋市科学館」

「授業からわかる先端科学～学校で学ぶ理科や数学が世界につながる」をテーマに開催しました。



## ◎ 特色ある活動・講座

医学部 先端的術式をトレーニング!

PICK  
UP!

### 先端医療技術イノベーションセンター開設

2017年1月12日(木)、桜山(川澄)キャンパスに先端医療技術イノベーションセンターを開設しました。本センターは、中部東海地区における手術手技研修の拠点として厚生労働省の支援を受け、主に外科領域・歯科領域での良質な医療人の育成を目的としています。これにより新たな術式や先端的診療機器の創出が期待されています。昨今、内視鏡などによる低侵襲性の術式の普及に伴い、広く世界的に医療ミスが増加しています。本センターには、内視鏡下での腫瘍切除術・脊椎固定術など、先端的術式を献体で修練することが可能です。また、産学協働拠点としての役割も担っていることが特長です。機械産業・航空宇宙産業が集積している中京圏の地の利を活かし、近年の人工知能研究の成果を盛り込んだ手術支援ロボットシステムなどを創出します。



内覧会で説明する先端医療技術イノベーションセンター長  
植木孝俊教授



医師の指導を受けながらドクターエイドとして懸命に働く学生  
(オレンジのユニフォーム)

医学部附属病院 学生が医療の現場で活躍!

### ドクターエイド制度

救命救急センターでは急激に増加する救急搬送患者に対応するため、学生アシスタントを採用しています。学生が医療の現場を学び、感じたことを今後の研究や仕事に活かしてもらいたいのもと、医学部・看護学部だけでなく、本学の全在学生在に募集範囲を広げています。当センターには昼夜を問わず、さまざまな患者さんが搬送されており、近年の高齢化、単身化社会の一端を垣間見ることが出来ます。現在、医学部・看護学部・薬学部・人文社会学部・芸術工学部の17名の学生が在籍しており、それぞれの学業や生活に応じた働き方をしています。

また、当センターは本年、愛知県で3番目の日本救急医学会指導医指定施設に認定されました。地域の救急医療を担う人材を育てる専門施設として、これからも彼らとともに発展していきます。

全学部 〈死〉のタブー視を問いなおす

### 死生学シンポジウムを開催!

少子高齢化社会を迎え、自然災害が頻発する昨今、死を恐むべきものとしてタブー視するのではなく、早い段階から意識し準備しておくこと、先人の死に対する向き合い方を学んでおくこと、そして一見死とは無縁である若い世代に適切な死生観教育を施していくことが求められています。

2016年12月18日(日)、初開催した死生学シンポジウムでは、学部の枠を超え、人文社会・医学・看護・芸術工学の立場から「死生学」の意義と、今後の可能性についてディスカッションした他、「ニュースの職人」で知られる鳥越俊太郎氏による基調講演を行いました。本シンポジウムをきっかけに他分野の方々とも協力し、今後も研究活動をより充実したものとして展開していきます。



#### ■死生学とは?

人文社会・医療などの異分野の知を結集して、死にまつわるあらゆる問題に向き合う学問のこと。

全学部 新聞報道や囲碁も!?

### 特色ある教養教育科目の開講

教養教育において豊かな人間性を育むため、企業などの協力による様々な科目を開講しています。後期には、社会への関心を高め物事を多面的に考える重要性を認識する「新聞報道の現場から」(読売新聞社)や、日本の伝統文化に触れつつ思考力・応用力などを養成する「囲碁に学ぶ」(日本棋院)を開講しました。



「囲碁に学ぶ」の授業風景

経済学部 財務省審議官による講演!

### 日本経済の将来を考える

2016年11月18日(金)、経済学部生などを対象とした「日本経済の将来と公務員としての働き方」講演会を開催しました。ご講演いただいた財務省 藤城眞審議官は学生に質問を投げかけながら、自ら主体的に考えさせる講義を行い、学生からも活発な意見が飛び交いました。



財務省審議官 藤城眞氏

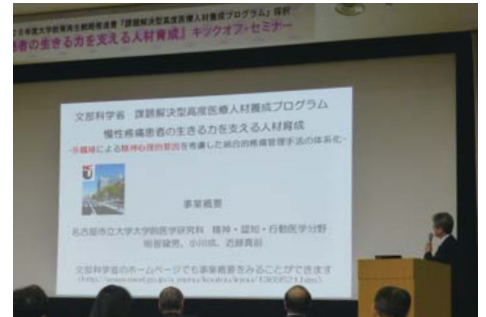
## 大学院医学研究科

### 文科省のプログラムに採択!

## 慢性疼痛患者の生きる力を支える人材育成

本学の「慢性疼痛患者の生きる力を支える人材育成」事業が、文部科学省課題解決型高度医療人材養成プログラムに採択されました。本事業では、慢性疼痛患者を支援できる多職種医療人の育成に取り組みます。また、採択を受け、医学部附属病院では集学的に慢性痛に対応する「いたみセンター」を設置しました。今後は本学の取り組みが全国に展開されるよう、その成果を広く発信してまいります。

■文部科学省課題解決型高度医療人材養成プログラムに関する詳しい内容は  
文部科学省ウェブサイトから以下のページをご覧ください。  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/iryuu/1375664.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/iryuu/1375664.htm)



キックオフセミナーで本事業の取り組みを紹介する  
医学研究科 明智龍男教授(2017年1月29日(日))

DATE 2016.11.11

## 看護学部

### 地域に密着した在宅ケア!

## 講演会を開催

「食べるを支える多職種連携」をテーマに、講師として在宅医療のスペシャリストである杉浦医院の森亮太先生をお招きしました。在宅医療での事例を挙げながら、医療従事者連携の重要性をご講演いただきました。



## 薬学部

### 家族のためのオープンキャンパス!

## ペアレンツ・カミングデーを開催

在学生のご家族に学生生活や進路方向などについて理解を深めていただくことを目的として開催し、全国から340名もの参加がありました。教育・学生生活、就職活動についての学生による発表の他、施設・研究室見学ツアー、学食体験を実施し、「子どもの学生生活を垣間見ることができ、とても有意義に過ごせた」「これからも学生がどんどん研究を深めていける学校であってほしい」など多くの感想をいただきました。



全国からご参加いただき2会場で実施



家族揃って体験した学食メニュー

DATE 2016.11.13

DATE 2016.11.23

## 大学院経済学研究科

### 新コース開講記念シンポジウム!

## いまから考えよう、

## 20年後の老後

大学院経済学研究科の医療経済マネジメントコース開講を記念した、公開シンポジウムを開催しました。パネリストとして年金・社会保障、健康・医療、福祉などの行政の第一線で活躍されている専門家をお招きし、老後についてご家族で考えていただくきっかけとなりました。



パネリスト:  
財務省東海財務局長 長谷川靖氏、愛知県副知事 堀井奈津子氏、  
名古屋市健康福祉局長 杉山勝氏、医学研究科 赤津裕康特任教授

## 陸前高田市の中学生が看護職の職場を体験!

東日本大震災をきっかけに、名古屋市は岩手県陸前高田市と友好都市の協定を結んでいます。市民同士の交流も盛んに行われ、その一環として、今年も陸前高田市から2名の中学生が医学部附属病院に来院しました。初めての看護職体験に緊張していましたが、患者さんから「いい看護師になってね」と励まされるなど、患者さんとの触れ合いを楽しんでいました。また、体験を終えた中学生から「看護師になる夢を叶えたいです」と笑顔の感想をいただきました。



陸前高田市から来院した中学生と平岡看護部長

DATE 2017.1.11

### 市立大学の輪(和)を広げる

## 「名古屋市立大学交流会」

平成28年度名古屋市立大学交流会 総会・講演会・懇親会を開催しました。

当日は、総会での新会長の選出、同志社大学法学部の村田晃嗣先生のご講演の後、懇親会を開催し、世代や学部を超えて参加者の交流の輪(和)を広げました。

### 名古屋市立大学交流会とは?

本学の発展と社会貢献を目的とした、卒業生、現・旧教職員などで構成される全学レベルの組織。

■名古屋市立大学交流会ウェブサイト <http://www.koryukai.jp>

DATE 2017.2.4



新会長に選出された土屋隆氏による就任のごあいさつ

# 国際交流

INTERNATIONAL ↔ EXCHANGE

DATE 2016.12.7-8

## 最先端の技術シーズを発信! 「中部地区医療・バイオ系 シーズ発表会」を開催

本学をはじめとする中部地区13大学・研究機関が吹上ホールに集結し、シーズ発表会を開催しました。本学からは医学研究科 植木孝俊教授と志村貴也講師、薬学研究科 井上靖道准教授が参加し、ポスター発表・口頭発表などを行いました。2日間で、企業関係者を中心に計3,739名が来場し、本学の研究を知っていただく絶好の機会となりました。



■ 本学の出版に関する詳しい内容は本学ウェブサイトから以下のページをご覧ください。

<http://www.nagoya-cu.ac.jp/science/cooperation/report/h28/007742.html>

DATE 2017.1.11

## 第4回 医・薬・工連携フォーラム 「知的財産講演会」を開催

研究成果の特許化や企業との連携など知的財産の効果的な活用策を考えるための知的財産講演会を開催し、88名が参加しました。講演者として、佐々木剛史理事(産学官・地域連携)、医学研究科 森田明理教授、薬学研究科 豊玉彰子講師の他、山口大学 佐田洋一郎知的財産センター長をお招きし、大学の知的財産の取り組みなど事例を交えながらご紹介いただきました。

今後も、本学の知的財産が広く社会に活用されるよう産学官連携を積極的に推進してまいります。



## 常州大学・タマサート大学と 交流協定を締結!

2016年11月4日(金)に中国の常州大学、11月16日(水)にはタイのタマサート大学と大学間交流協定を締結しました。タマサート大学との交流協定は両大学関係者立会いの下、本学で調印式が行われました。今回の締結により、海外の大学間交流協定校は32校となりました。



タマサート大学との協定調印式の様子



学部長らと記念撮影

## サントトマス大学を訪問! 海外拠点設置に向け協議

2016年12月2日(金)、学術交流の一環として、本学の今泉理事(研究・国際)がフィリピンのサントトマス大学を訪問しました。サントトマス大学理学部長のラモス教授らと海外拠点設置に向け協議し、今後さらに密な連携を行うこととしました。

## アジアから優秀な学生を招へい! タイの学生が理事長訪問

アジア地域と日本の科学技術発展のため、海外の優秀な人材を育成することを目的とした「さくらサイエンスプラン」により、タイのプリンスオブソンクラ大学から9名の学生と1名の教員を短期(10日間)招へいしました。



理事長訪問での記念撮影



タンチャロンサティエン氏による公開講義

## 看護学部、外国人客員研究員 などを招へい!

2016年12月17日(土)から1週間、タイ公衆衛生省・国際保健政策計画財団からヴィロート・タンチャロンサティエン氏をはじめとする3名の研究者をお招きしました。看護学部国際交流委員会の国際交流活動の一環として、大学院生らを対象としたセミナーや、JICA中部国際センターおよび公益財団法人アジア保健研修所との共催による公開講義などを実施し、国際医療の大切さを学びました。

## 医学部附属病院、フィリピンで 腹腔鏡下手術を指導!

2016年12月12日(月)から5日間、国際貢献と国際交流を目的として、医学部附属病院の消化器外科手術チームがフィリピンのケソン市立総合病院医療センターで腹腔鏡下手術の技術指導を行いました。また、2017年1月16日(月)からの5日間は、現地からの研修チーム7名(外科医・麻酔科医・看護師)を医学部附属病院に受け入れました。



来日メンバーと記念撮影



## 学生の活躍

### ▶名古屋市大学生消防団が総務大臣感謝状を受賞!

2016年12月20日(火)、本学生と中京大学の学生50名で構成される名古屋市大学生消防団が、地域の防災活動に貢献したとして、大学生消防団では全国で初めて総務大臣感謝状を受賞しました。12月22日(木)には、団長を務めた人文社会学部4年の若原睦実さんらが河村たかし市長を訪れ、受賞報告とこれまでの活動報告を行いました。



団長の若原睦実さん  
(写真左から2番目)



ボートの説明を受ける名古屋市大学生消防団



### ▶地域活動・社会貢献活動を発信! 「名市大LINK topos」を開催

2016年12月16日(金)、本学の地域活動や社会貢献活動に関わる学生団体が集まり、各団体の活動を共有し、学び合うことを目的とした「名市大LINK topos」を初めて開催しました。当日は、7団体の学生が発表し、教職員など約50名の参加者で意見が交わされました。

### 期間限定! 滝子学生カフェ 「たきこーひー」

2016年10月30日(日)から11月5日(土)、有志の学生がオーナーやスタッフになって企画立案、店舗経営を学ぶことを目的として開店したカフェ。滝子(山の畑)キャンパスに隣接する滝子商店街の空き店舗を活用し、学生と地域住民の交流スペースを提供しました。

PICK UP!



### 人文社会学部

本学の期日前投票所の設置を踏まえて研究

### ▶日本地方政治学会・日本地域政治学会で 優秀賞を受賞!

2016年6月、本学に設置された参議院選挙の期日前投票所において、運営に携わった学生が「大学における期日前合同投票所の可能性」をテーマに研究を行い、日本地方政治学会・日本地域政治学会2016年度地方大会で優秀賞を受賞しました。11月の瑞穂ふれあい区民講座でも研究発表を行い、パネルディスカッションにも登壇しました。

受賞者: 人文社会学部3年 安藤愛さん、小林茉莉奈さん、土屋摂子さん、寺本かなさん(三浦哲司准教授ゼミ)



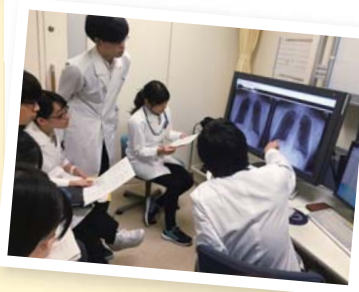
発表の様子

### 医学部

### ▶Beyond the Resident Project への取り組み

Beyond the Resident Project (BR) は研修医が学ぶ基本的な臨床スキルを学生のうちに身につけることを目標とした、医学部5年生有志による勉強会です。心電図・胸部X線読影、腹部超音波検査、救急スキルなどを、先生方のきめ細やかな指導のもと積極的に学んでいます。

(文: 医学部5年 中西陽子さん)



## ▶ OTHERS

### ▶日本救急医学会総会・学術集会 学生・研修医セッションポスター発表 優秀賞

受賞者: 医学部6年 鳥居祐里さん

■発表テーマ: マラソン中の心肺停止に対するバイスタンダーCPRが奏功し社会復帰に至った一例

また、本学会では医学部6年 桜井勇明さんも「救急救命医サークルMeLSC」の活動を通じた口演を行いました。

### ▶第30回 日本医学会総会2019中部 シンボルマークの公募 最優秀賞

デザイン制作: 芸術工学部3年 山田奈穂さん

また、芸術工学部3年 奥野雄貴さん、山川聡子さんも優秀賞を受賞しました。

協力: 市立大学芸術工学研究科 環境デザイン研究所



第30回  
日本医学会総会2019中部  
シンボルマーク

PRIZE 受賞

※受賞期間:2016年10月1日~2017年1月31日

### 平成28年度 論文プラス1運動表彰

今年度から始まった「論文プラス1運動」において、論文数で特に顕著な業績を収め、  
本学の研究力強化にご尽力された方を表彰しました。

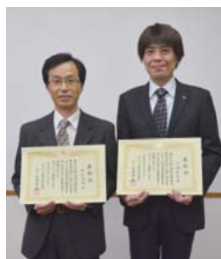
- ・医学研究科 放射線医学分野 講師 下平 政史
- ・医学研究科 消化器・代謝内科学分野 講師 内藤 格
- ・薬学研究科 生命分子構造学分野 講師 矢木 宏和
- ・経済学研究科 教授 川端 康
- ・人間文化研究科 教授 矢野 均
- ・芸術工学研究科 准教授 張 景耀
- ・看護学部 助教 細川 陸也
- ・システム自然科学研究科 准教授 青柳 忍



### 平成28年度 科学研究費審査委員表彰

日本学術振興会より、科学研究費において有意義な審査意見を付し、公正・公平な審査に貢献したとして約5,700名の審査委員の中から268名が選考され、本学の教員も表彰されました。

- ・薬学研究科 臨床薬学教育研究センター 教授 松永 民秀 (写真左)
- ・薬学研究科 神経薬理学分野 准教授 大澤 匡弘 (写真右)



### 第4回 男女共同参画奨励賞

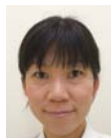
男女共同参画社会の実現に関連する優れた研究・活動などを行っている本学の教職員および在学生・卒業生を表彰しました。

- ・経済学部4年 白杵政治教授ゼミ 郁 恵美さん、貝沼 理彩子さん、杉野 由佳さん、中島 紗希さん、武藤 有希乃さん
- ・人文社会学部1年 青山 巧実さん
- ・薬学研究科修了 鈴木 友美子氏
- ・医学部附属病院看護部



#### ■ 医学研究科

※研究科ごと・受賞日順に掲載



第75回 日本めまい平衡医学会総会・学術講演会  
優秀ポスター賞

耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野 助教  
蒲谷 嘉代子



The Asian Pacific Association for the Study of the Liver  
APASL2017 Award・APASL-AASLD Joint Workshop Travel Award

消化器・代謝内科学分野 病院助教  
飯尾 悦子



第273回 日本泌尿器科学会 東海地方会  
優秀発表賞

腎・泌尿器科学分野 病院助教  
守時 良演



日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部  
合同学術大会2016 ベストプレゼン賞

病院薬理学 特任助教  
加藤 順子

#### ■ 薬学研究科

### 名古屋市の子育て支援企業に 認定されました!

名古屋市内に事業所がある企業などの内、子育てにやさしい企業活動を行っている法人として認定されました。

- 「名古屋市子育て支援企業認定・表彰制度」の詳細内容は、名古屋市ウェブサイトから以下のページをご覧ください。  
<http://www.city.nagoya.jp/kodomoseishonen/page/0000010803.html>

### 「全国大学サイト・ユーザビリティ調査」で PC編・スマホ編ともに全国第2位にランクイン!

「全国大学サイト・ユーザビリティ調査2016-2017」(株式会社日経BPコンサルティング)の調査結果が発表されました。この調査は、大学ウェブサイトの使いやすさなどを評価したものです。

- 詳しくは本学ウェブサイトから以下のページをご覧ください。  
<http://www.nagoya-cu.ac.jp/about/press/news/news/007552.html>

For the **70th** anniversary of NCU's founding

2020年で開学70周年

開学70周年に向けた様々な  
取り組みをご紹介します。

### 22世紀研究所講演会「オーロラの大地から」を開催!

2016年12月21日(水)、人々が50年先100年先の未来を見据えることのできる情報の発信を目的として設立した22世紀研究所が、自然写真家の松本紀生氏をお招きし、講演会を開催しました。美しく雄大な大自然の風景がBGMに乗って映し出され、その撮影秘話などを通じ、200名以上の参加者が魅了されました。また、人間社会と並行して流れる別世界の体験は、参加者の視野を広げる一助にもなりました。



講演会の様子

## イベント参加者募集!

名古屋市立大学が主催するさまざまなイベントの情報をお届けします。ぜひご参加ください。

■内容・場所・申込方法等の詳細は、ウェブサイトをご覧ください。

### 授業公開

開催日	内容	場所	対象・費用	申込方法
4.12 WED - 7.28 FRI 各科目 全15回 学部学生に開講している授業 科目を学生と一緒に受講	①経済学部 2科目	滝子(山の畑)キャンパス	対象:原則として名古屋市内在住または在勤の 満20歳以上の社会人で、開講期間中、 継続して受講可能な方 費用:1科目につき3,000円	詳しい日程・申込方法は本学ウェブサイト 授業公開のページをご覧ください。 <a href="http://www.nagoya-cu.ac.jp/science/contribution/event/cat03.html">http://www.nagoya-cu.ac.jp/science/ contribution/event/cat03.html</a> 申込締切:3月10日(金)消印有効
	②人文社会学部 3科目			
	③芸術工学部 1科目	北千種キャンパス		

### 医療・保健 学びなおし講座 春期

開催日	内容	時間・場所・費用・定員	申込方法
4.11 TUE - 7.27 THU 各テーマ 全15回	開講テーマ 「疾病と薬物治療」 「がんの最新治療」 「高齢者医療」	18:30~20:00 桜山(川澄)キャンパス 医学部研究棟11階講義室 対象:医療と保健分野の国家資格保有者、 一般で興味のある方 費用:1講座14,800円 定員:各60名程度	所定の申込用紙を下記のウェブサイトよりダウンロードし記入の上、 メール添付または郵送にてお申し込みください。 <a href="http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/w3med/manabi/">http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/w3med/manabi/</a> メール:manabi@med.nagoya-cu.ac.jp 申込期限:4月3日(月)必着 TEL:052-853-8077 FAX:052-842-0863

### サイエンスカフェ in 名古屋

開催日	内容	時間・場所・費用・定員	申込方法
3.17 FRI	第118回「老いと音声コミュニケーション」 講師:システム自然科学研究科 教授 中村 篤	18:00~20:00 中区栄 ナディアパーク内 デザインセンタービル7階 7th cafe(セブンスカフェ) 費用:600円 (飲み物+お菓子) 定員:各先着30名	お名前・ご住所・ご希望の回(開催日)を ご記入の上、お申し込みください。 メール:scicafe@nsc.nagoya-cu.ac.jp TEL:052-872-5802 FAX:052-872-1531 ※開催日の1カ月前から、次回開催分の受付を開始いたします。 詳しくはサイエンスカフェ in 名古屋の ウェブサイトをご覧ください。 <a href="http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/scicafe/index.html">http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/scicafe/index.html</a>
4.21 FRI	第119回「電子スピンのほたらき ~機能性材料から生体物質まで~」 講師:自然科学研究機構分子科学研究所 准教授 中村 敏和 氏		
5.19 FRI	第120回「第2の地球を探せ」 講師:東京大学大学院理学系研究科 教授 田村 元秀 氏		

### 卒業式

3.24 FRI 10:00~  
会場:名古屋国際会議場 センチュリーホール

### 入学式

4.5 WED 10:00~  
会場:名古屋国際会議場 センチュリーホール



#### 熱狂する「神の国」アメリカ ~大統領とキリスト教~

著者:人間文化研究科  
教授 松本 佐保

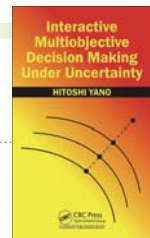
2016年6月 出版:文春新書



#### Interactive Multiobjective Decision Making Under Uncertainty

著者:人間文化研究科  
教授 矢野 均

2016年11月 出版:CRC PRESS



### 寄附顕彰

大学振興基金・名古屋市大生みらい応援基金へのご寄附ありがとうございました。

#### 大学振興基金

##### ■個人

100,000円以上 中西 守 様、服部 未代治 様、林 直温 様  
50,000円以上 高石 鉄雄 様  
10,000円以上 石崎 正人 様、久保 富隆 様、様、寺口 昌利 様、森 潤 様  
5,000円以上 青木 茂 様、奥野 雄貴 様、佐野 義春 様、田丸 利昭 様  
原 豊士 様、松本 晴年 様  
非公表 泉屋 憲孝 様、大島 忠之 様、風間 裕子 様、川口 哲 様  
川口 輝佳 様、小寺 由起子 様、玉井 一司 様、長坂 隆治 様  
平丸 秀昭 様、森 正樹 様

##### ■団体

100,000円以上 名古屋市立大学芸術工学部20周年記念事業実行委員会 様  
非公表 名古屋市立大学薬友会 様  
POLA THE BEAUTY イオンモール新瑞橋店 様

#### 名古屋市大生みらい応援基金

##### ■個人

50,000円以上 工藤 重之 様、宮原 ひろ子 様  
10,000円以上 浅野 郁一 様、黒木 慎一 様  
5,000円以上 青木 茂 様、加藤 哲男 様、松本 晴年 様  
非公表 伊藤 恭彦 様、加藤 達也 様、川口 輝佳 様、郡 健二郎 様  
玉井 浩子 様、山内 康稔 様、湯川 泰 様

##### ■団体

非公表 名古屋市立大学教職員有志 様

※五十音順。2016年10月1日から12月31日までにご寄附いただき、公表に同意された方。  
※インターネットからお申込みいただいた方につきましては、クレジットカード会社または決済代行会社  
から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。  
※古本募金によりご寄附いただいた方につきましては、提携会社から本学へ入金された日が上記期間に  
該当する方。

### ご意見・情報 募集中!

<本学教職員の皆さまへ>

広報誌「創新」のご感想や掲載したい情報を、ぜひ事務局企画広報課までお知らせください。  
また、広報に関する報告・相談には、教職員限定サイト「広報ホットライン」をご活用ください。

### ご協力ください

敷地内・周辺道路は禁煙です。

